

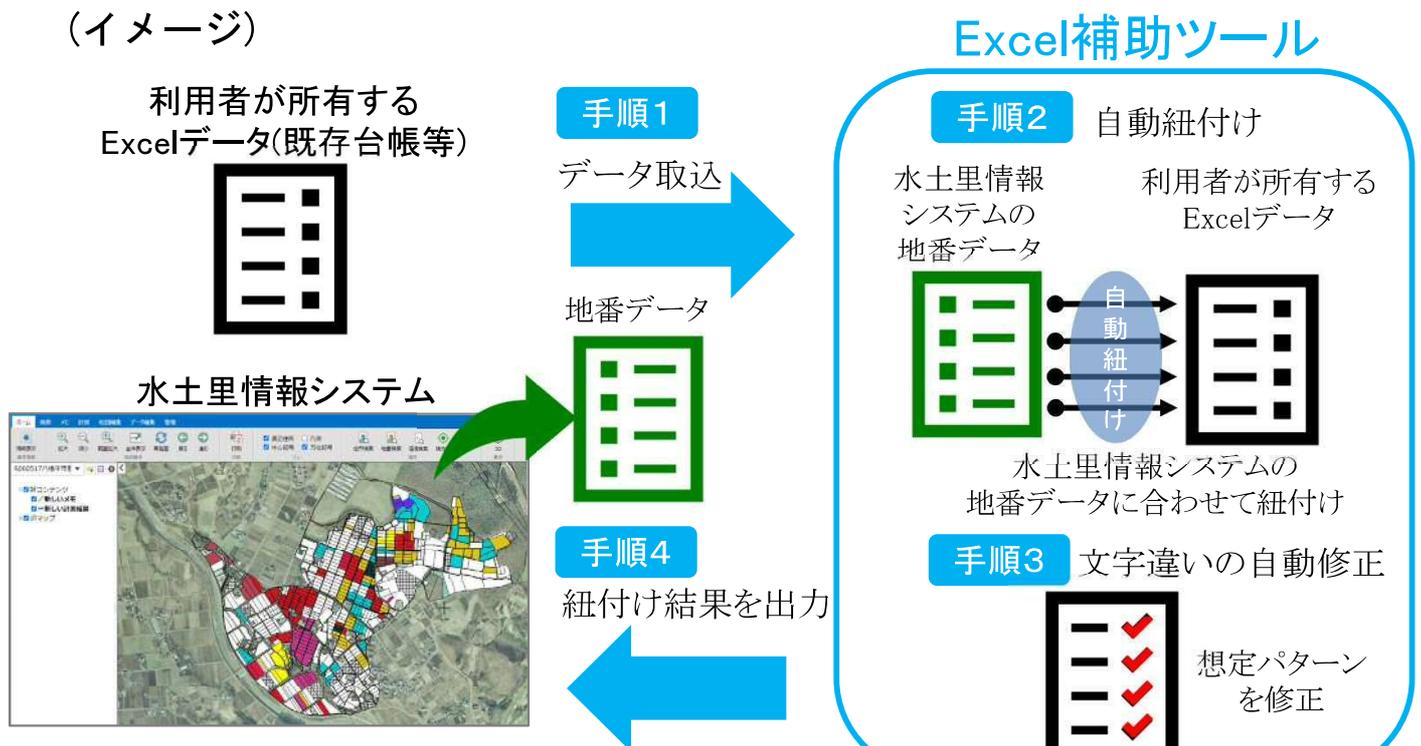
今回紹介する団体： 水土里ネットいわて

取組概要

内容： 地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)の目標地図の作成について、水土里情報システムと独自に開発したExcel補助ツールを組み合わせた作成方法を関係機関に提案して支援している。

- 経緯：① 水土里ネットいわては、平成24年から水土里情報システムを活用した地域農業マスタープラン(人・農地プラン)の「地域状況の地図化」の支援に取り組んできた。
- ② 令和5年の農業経営基盤強化促進法改正により、令和6年度末までに目標地図の作成を含む地域計画の策定が法定化。これに関連し、水土里情報システムを活用した目標地図の作成について、関係機関から水土里ネットいわてに対し多くの問い合わせを受け、支援を開始。
- ③ ①の経験を基に、水土里情報システムに既存データを取り込む際、手動で行う必要がある「水土里情報システムの地番データを目印にデータを転記する紐付け」、「文字違いの修正」の2点を自動でできるようにするため、Excel補助ツールを独自に開発。このツールは、関係機関が自ら作業可能となるよう日常業務で使い慣れているExcelをベースとしたもので、データ転記の紐付けや文字違いの修正を自動化するもの。
- ④ このExcel補助ツールを関係機関に無償で提供し、水土里情報システムとExcel補助ツールを組み合わせた目標地図の作成を提案。

○水土里情報システムとExcel補助ツールを組み合わせた目標地図の作成方法(イメージ)



紐付け結果を取込後、耕作者別に色分け

取組による効果

- ① 「自動紐付け」や「文字違いの自動修正」により、関係機関の作業を省力化。
- ② Excel関数やデータベースの知識が不要となり、誰でも簡単に紐付けが可能。
- ③ 定量評価の一例として、5つの策定地区で4日程度の作業が、概ね1日に短縮。
- ④ 地域計画策定後の更新作業においても関係機関の省力化が見込まれる。

「自動紐付け」の例(字、地番をKEY)

水土里情報システムの地番データ

大字	小字	地番
A	1地割	10-1
B	1丁目	11
C	2地割	100
D	○	101-1

自動紐付け

利用者が所有するExcelデータ

字、地番	耕作者
A1地割10-1	①
B1丁目11	②
C2地割100	③
D○101-1	④

水土里情報システムに
取込後、耕作者別に色分け



「文字違いの自動修正」の例

水土里情報システムの地番データ

大字	小字	地番
A	1地割	10-1
B	1丁目	11
C	2地割	100
D	○	101-1

利用者が所有するExcelデータ

字、地番	耕作者
A第1地割10-1	①
B1丁目11	②
C2地割旧字名100	③
D字○101-1	④

ツールによる文字違いの
自動修正

⇒ 「第」の削除

⇒ 全角を半角に変換

⇒ 「旧字名」を削除

⇒ 「字」を削除

その他修正機能：任意枝番の除去、字抽出、地番抽出、漢数字変換など

今後の活用予定

地域計画の目標地図に限らず、各農業関係機関・団体が所有するExcelデータを活用した「簡単な地図の作成」の実現に向けて支援する。

GISシステムのバージョン情報

NEC GISApWeb2021

農地筆取込ツールVer4(Microsoft Office Excel2016～2021)

■問い合わせ先

岩手県土地改良事業団体連合会 総務管理部 水土里情報推進室 019-631-3205(直通)